

佐野市景況レポート

令和3年10～12月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

景況感は改善するも、材料・仕入価格の高騰に危機感

【 令和3年10～12月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲33.2、前期（9月期）比+4.3ポイントと、市内事業所の景況感は改善しました。

利益DI指数▲38.7（前期比+8.5）、売上高DI指数▲31.1（前期比+8.5）と共に改善しました。材料・仕入価格DI指数49.4（前期比+12.5）に対し、販売価格DI指数3.0（前期比+3.4）と材料・仕入価格の急上昇に販売価格への転嫁が追いつかない状況にあります。また、製品・商品在庫DI指数▲3.0（前期比▲4.2）、設備稼働率DI指数▲8.5（前期比+8.1）より景気改善が読み取れます。

【 令和4年1～3月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲30.3（前期比+3.6）と、引続き業績改善を予想しています。売上高DI指数▲23.2（前期比+10.3）、仕入価格指数43.9（前期比+9.5）、販売価格指数1.9（前期比+1.5）と、売上高DI指数の改善、仕入価格DI指数の大幅な上昇を見込むなど、3か月後も12月期と同様に、業況は改善するも仕入価格の大幅な上昇が転嫁できない見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントの特徴は、①原料・仕入価格の高騰と販売価格への転嫁難、②材料・部品等の入手難です。前回のコメントに比べ、材料・仕入価格高騰のコメントが増加しました。また、飲食店で来店客数が上向いた等のコメントを頂きました。

「昨日の考えは、今日は一新されていなければならない。今日のやり方は、明日にはもう一変していなければならない」松下幸之助翁の言葉です。

年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

〔佐野市内における業況天気図〕

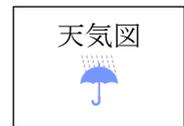
	実 績 (令和3年10～12月期)		見通し (令和4年1～3月期)	
業 況	▲33.2		▲30.3	
売 上 高	▲31.1		▲23.2	
販 売 価 格	3.0		1.9	
仕 入 価 格	49.4		43.9	
労 働 力	▲27.6		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について（令和3年10～12月期実績）

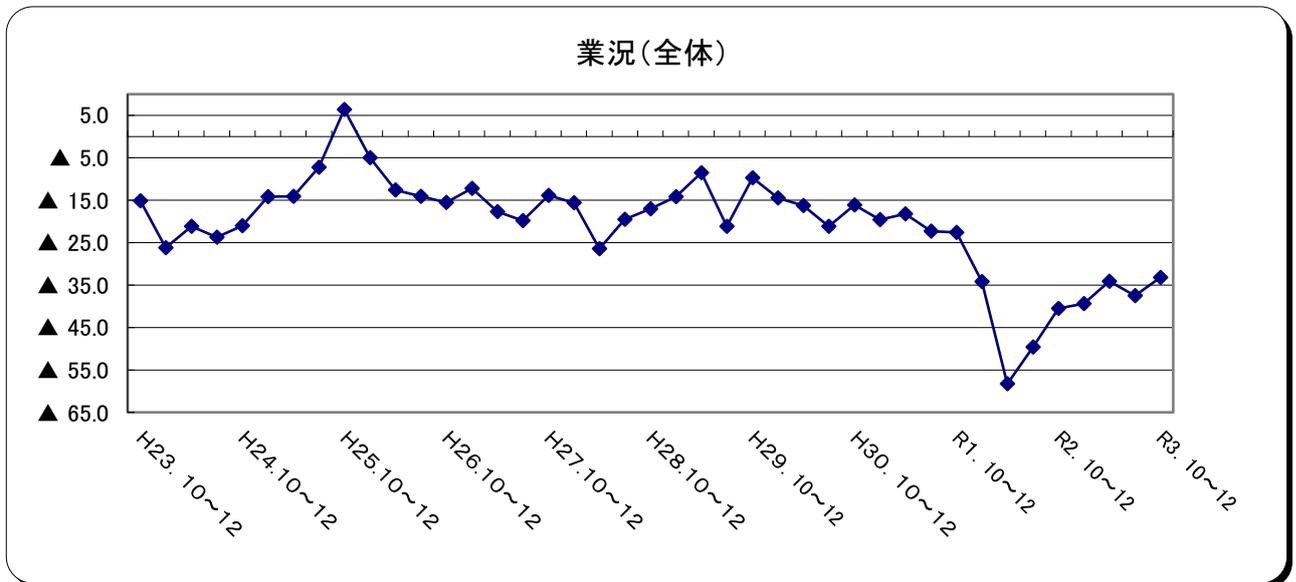


全業種 DI 指数▲33.2、前期比 4.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業 9.5 ポイント、②その他の製造業 5.7 ポイント、③機械・金属製造業▲4.0 ポイント、④設備業▲25.0 ポイント、⑤繊維品製造業▲37.5 ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和3年10～12月期実績）



全業種 DI 指数 49.4、前期比 12.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業(飲・食料品) 73.3 ポイント、②設備業 71.4 ポイント、③化学・プラスチック製造業 66.7 ポイント、④繊維品製造業 65.2 ポイント、⑤機械・金属製造業 63.4 ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和3年10～12月期実績）

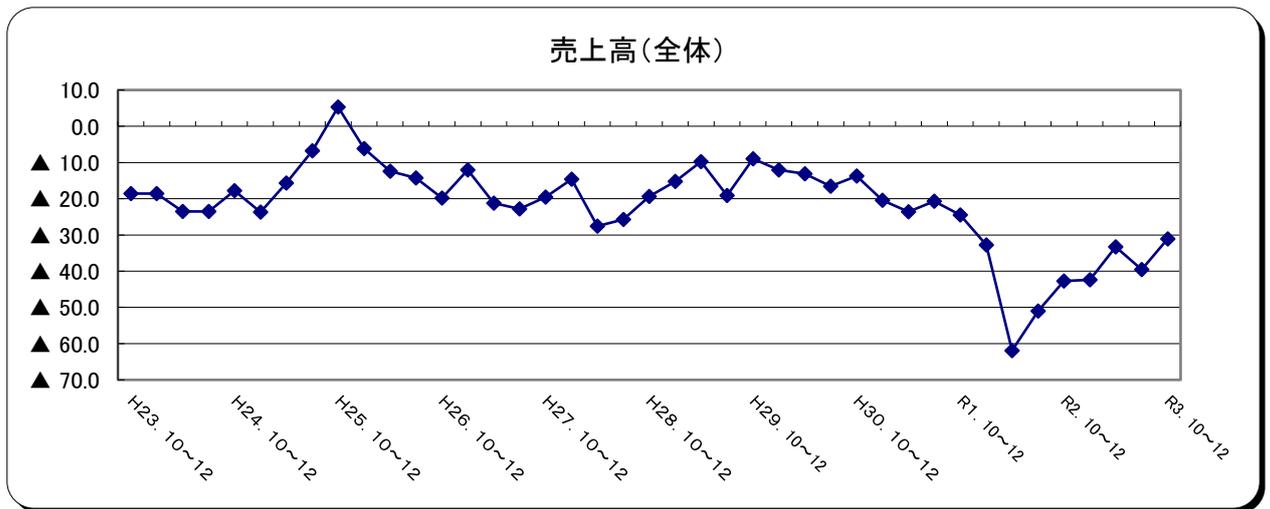


全業種DI指数▲31.1、前期比8.5ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製品製造業 11.7ポイント、②その他の製造業▲5.9ポイント、③建設業▲9.7ポイント、④卸売業▲12.5ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲23.7ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和3年10～12月期実績）



全業種DI指数3.0、前期比3.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 27.3ポイント、②小売業(飲・食料品)17.6ポイント、③機械・金属製造業14.6ポイント、④その他の小売業(大型店含む)12.0ポイント、⑤建設業9.5ポイント

上昇
↑
下落
↓



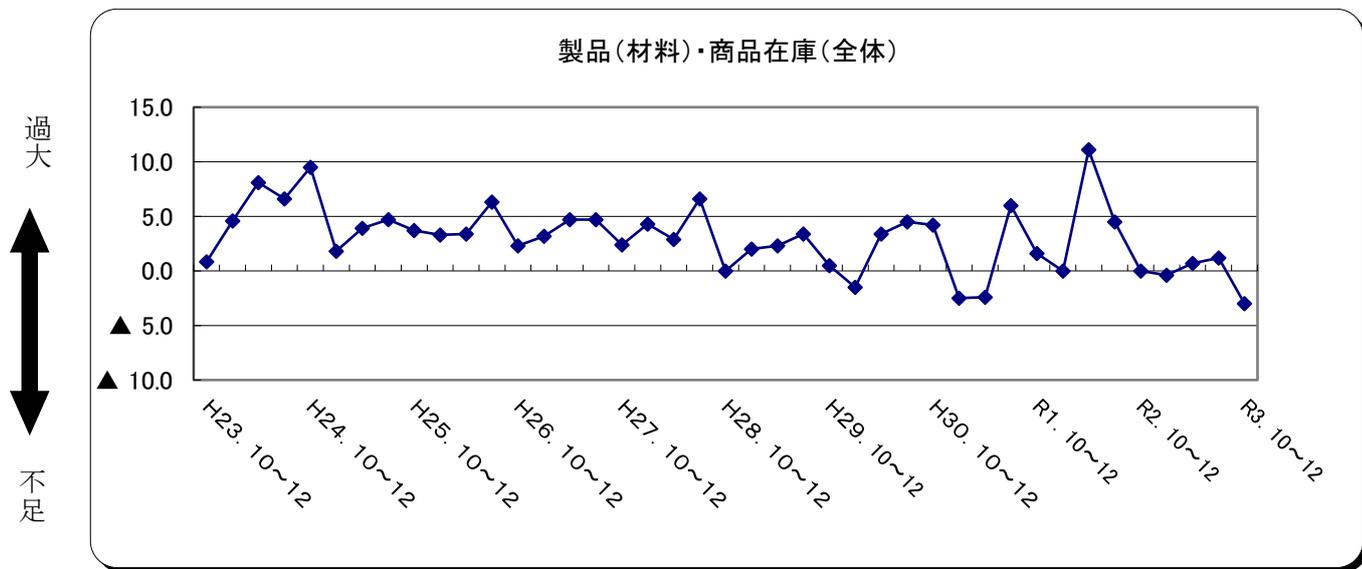
☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和3年10～12月期実績）



全業種 DI 指数▲3.0、前期比▲4.2ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 11.1ポイント、②化学・プラスチック製造業 7.5ポイント、③食品製造業 6.7ポイント、④その他の小売業(大型店含む) 3.9ポイント、⑤機械・金属製造業 0.0ポイント



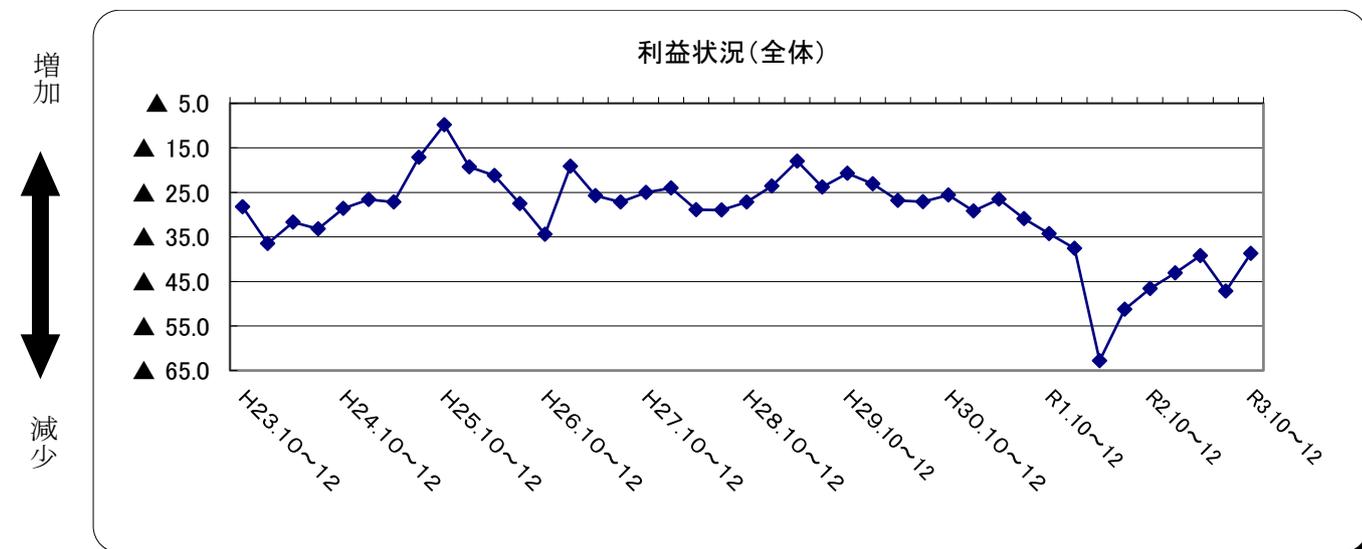
☆ 利益状況について（令和3年10～12月期実績）



全業種 DI 指数▲38.7、前期比 8.5ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 0.0ポイント、②建設業▲16.5ポイント、③その他の製造業▲17.0ポイント、④卸売業▲22.2ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲38.0ポイント



☆ 資金繰りについて (令和3年10~12月期実績)

天気図

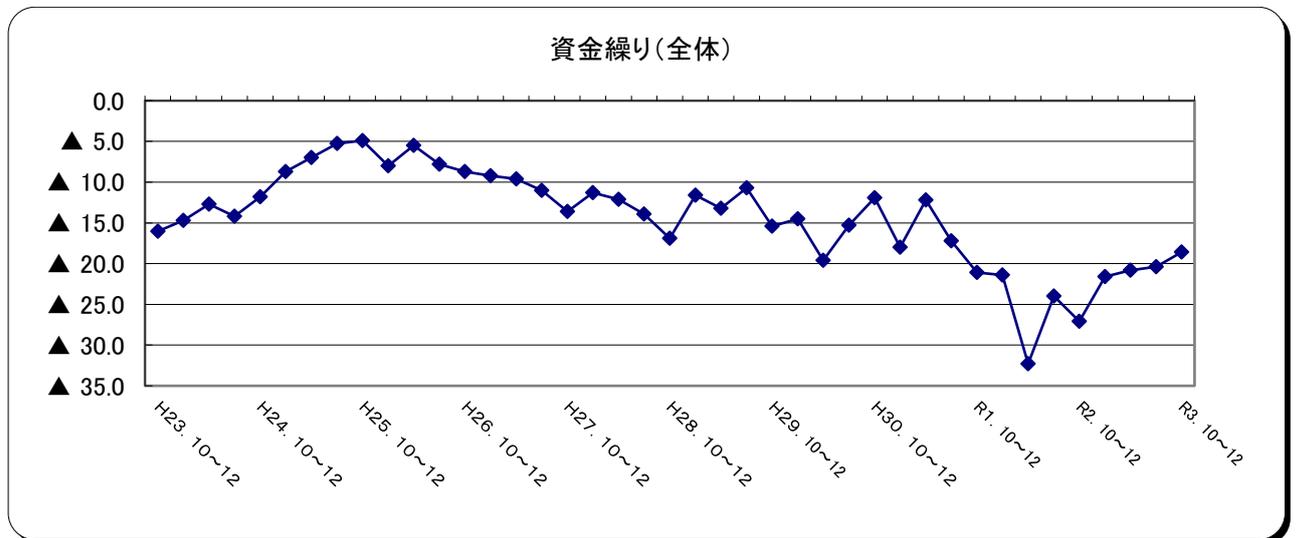


全業種 DI 指数▲18.6、前期比 1.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 11.1 ポイント、②建設業 0.0 ポイント、③卸売業▲5.7 ポイント、
- ④機械・金属製造業▲7.3 ポイント、⑤設備業▲12.0 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和3年10~12月期実績)

天気図



全業種 DI 指数▲27.6、前期比▲9.5 ポイント低下

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①繊維品製造業 0.0 ポイント、②サービス業▲10.6 ポイント、③卸売業▲11.1 ポイン
- ト、④飲食店▲12.7 ポイント、⑤機械・金属製造業▲18.5 ポイント

過剰
↑
↓
不足

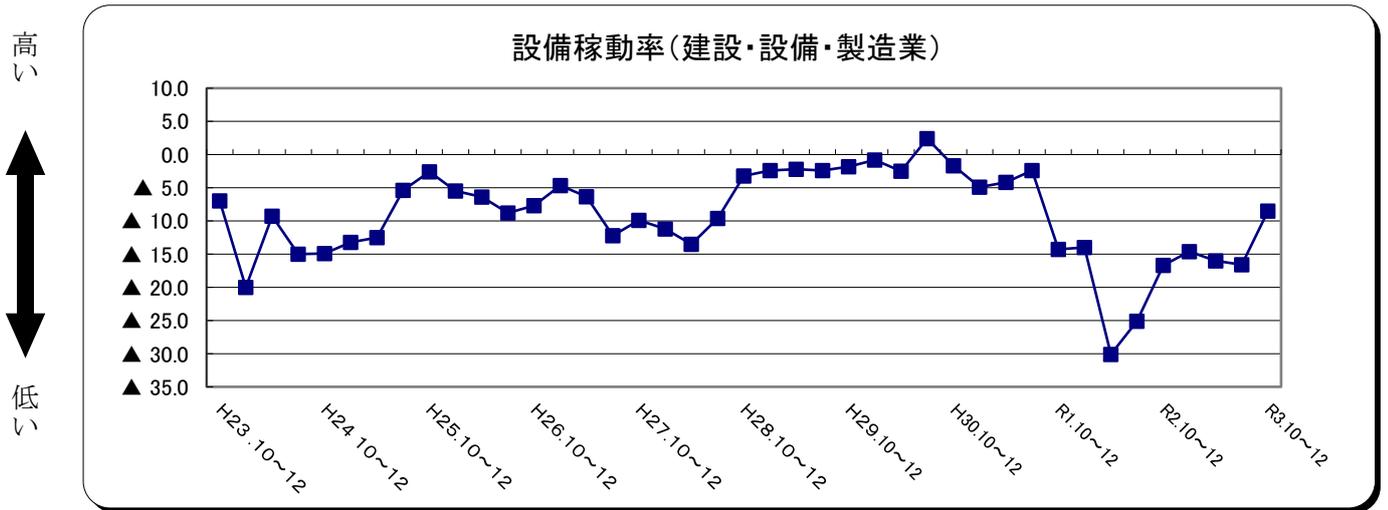


☆ 設備稼働率について (令和3年10~12月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数▲8.5、前期比 8.1 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①建設業・機械・金属製造業 0.0 ポイント、②その他の製造業▲5.5 ポイント、③設備業▲12.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲15.8 ポイント、⑤食品製造業▲28.6 ポイント

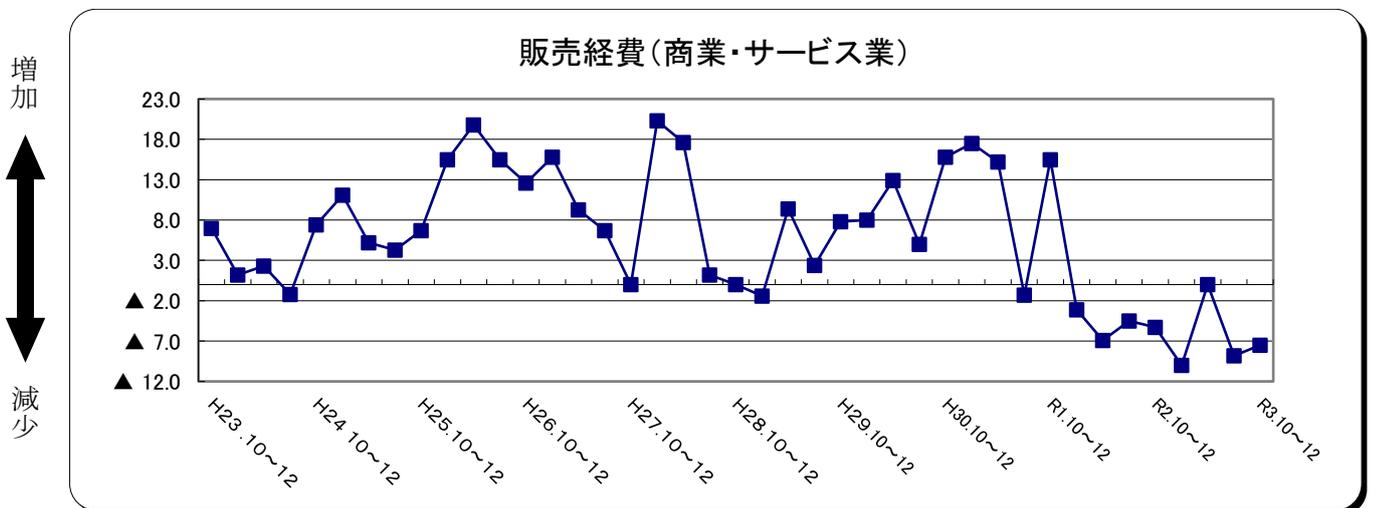


☆ 販売経費について (令和3年10~12月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数▲7.5、前期比 1.3 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①小売業(飲・食料品) 24.0 ポイント、②飲食店▲4.6 ポイント、③卸売業▲5.7 ポイント、④その他の小売業(大型店含む)▲8.3 ポイント、⑤サービス業▲30.0 ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和4年1~3月期の見通し）の業況について

天気図

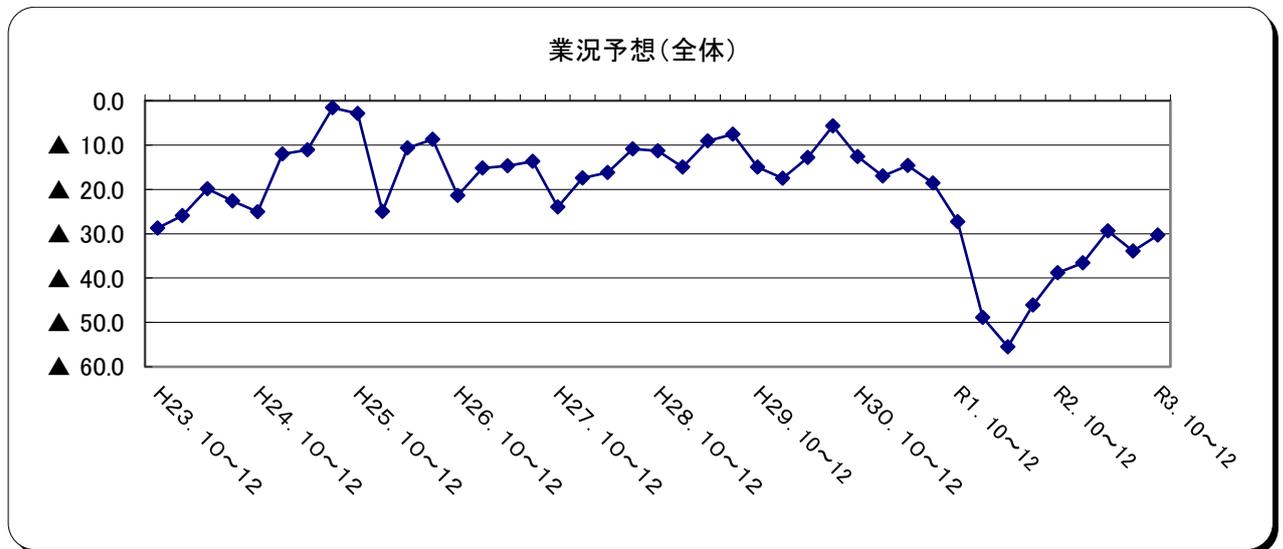


全業種DI指数▲30.3、前期比3.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 12.0ポイント、②建設業▲6.7ポイント、③機械・金属製造業▲7.9ポイント、④化学・プラスチック製造業▲22.5ポイント、⑤卸売業▲28.3ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和4年1~3月期の見通し）の売上高について

天気図

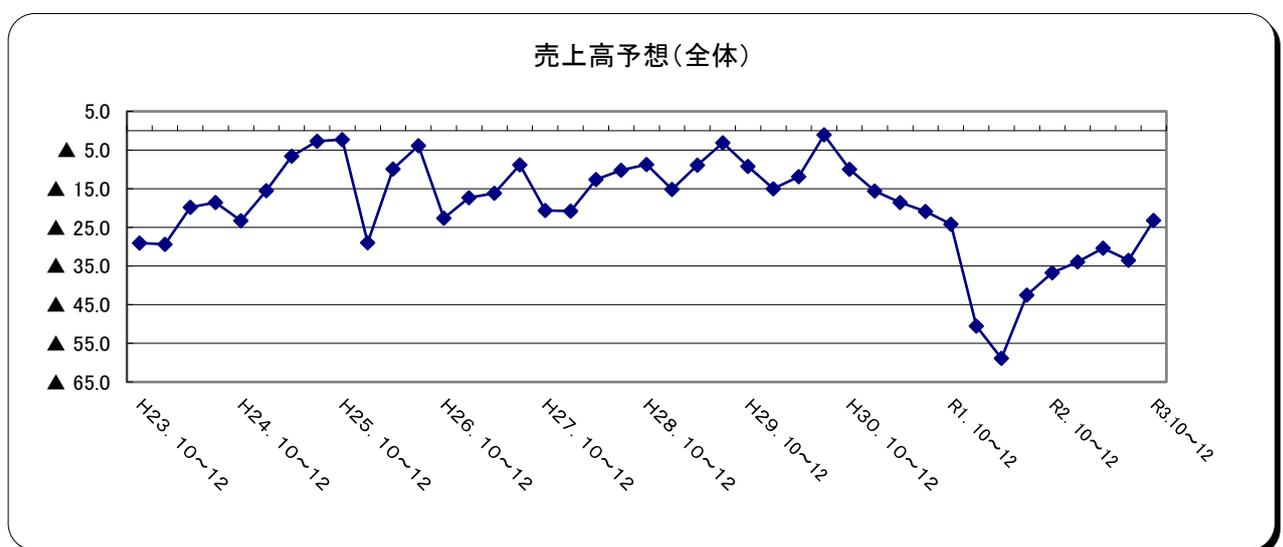


全業種DI指数▲23.2、前期比10.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 17.6ポイント、②建設業 0.0ポイント、③機械・金属製造業▲3.9ポイント、④化学・プラスチック製造業▲15.0ポイント、⑤設備業▲25.0ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和4年1～3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

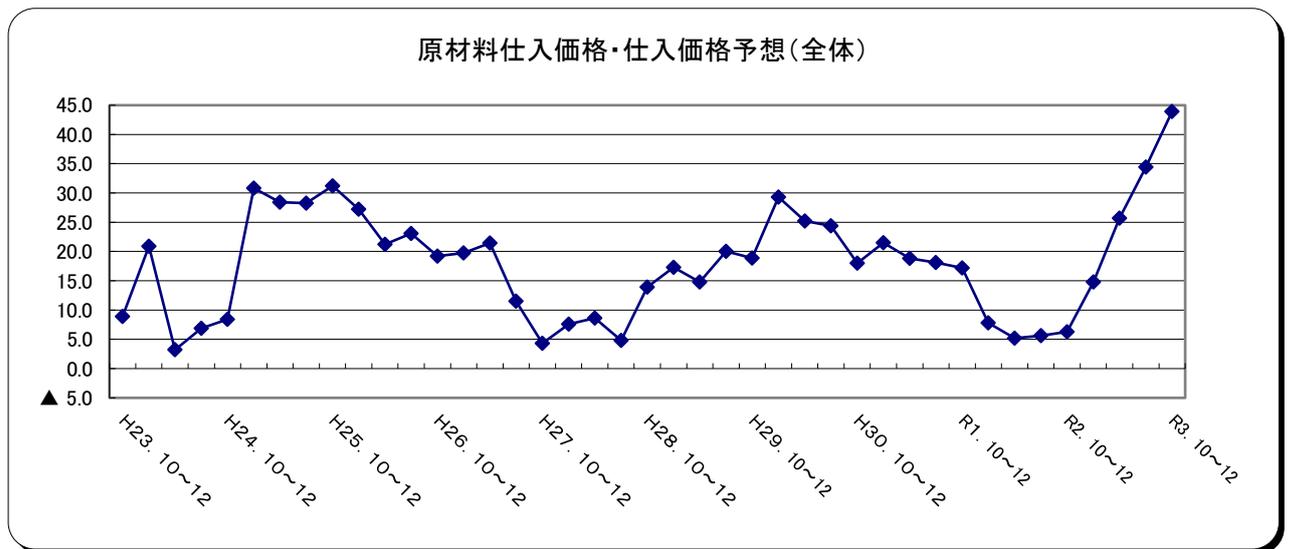


全業種 DI 指数 43.9、前期比 9.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①食品製造業 69.2 ポイント、②小売業（飲・食料品）65.2 ポイント、③設備業 62.8 ポイント、④化学・プラスチック製造業 56.8 ポイント、⑤繊維品製造業 50.0 ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和4年1～3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

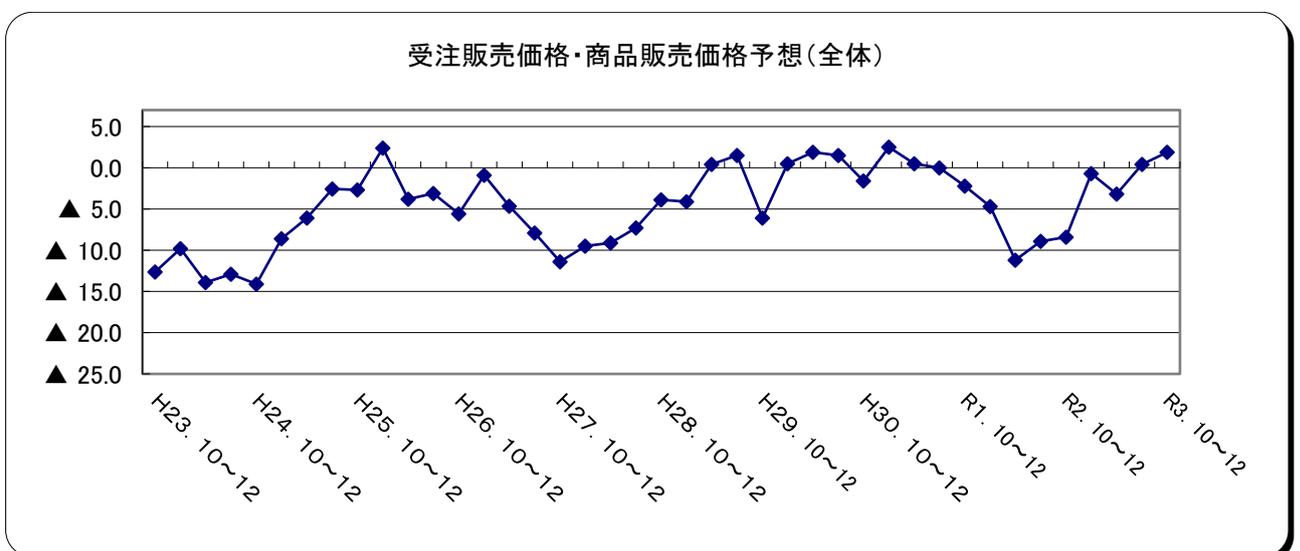


全業種 DI 指数 1.9、前年比 1.5 ポイント上昇

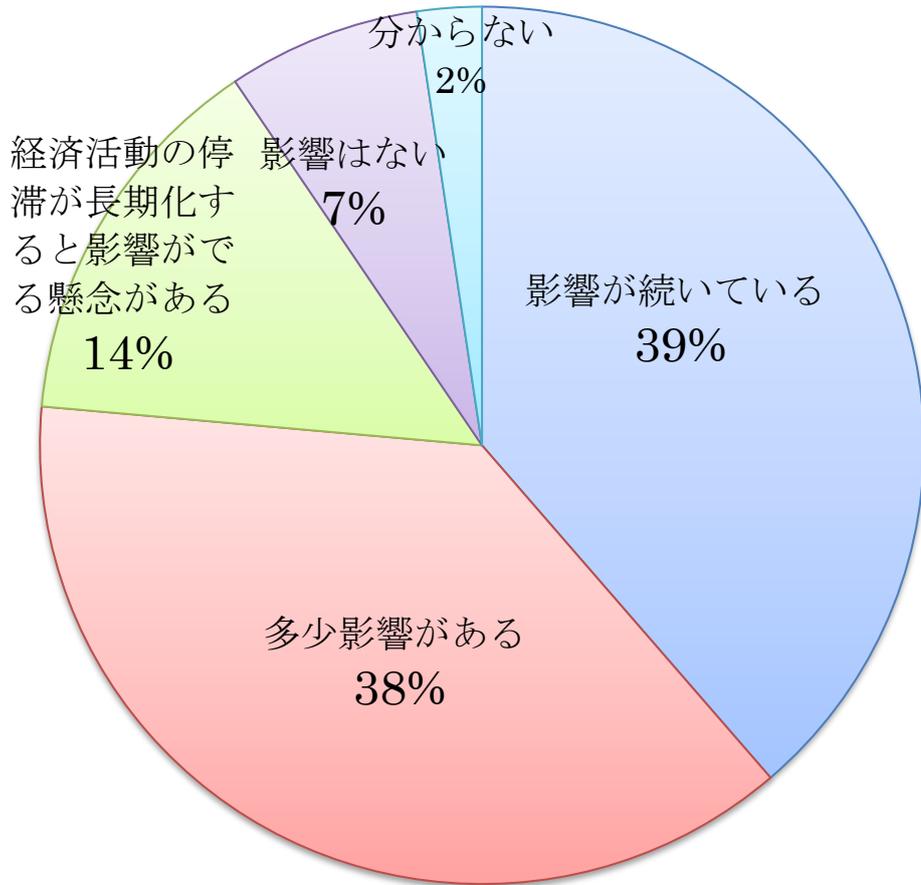
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）17.0 ポイント、②その他の小売業（大型店含む）16.7 ポイント、③卸売業 16.4 ポイント、④建設業 9.5 ポイント、⑤機械・金属製造業 7.3 ポイント

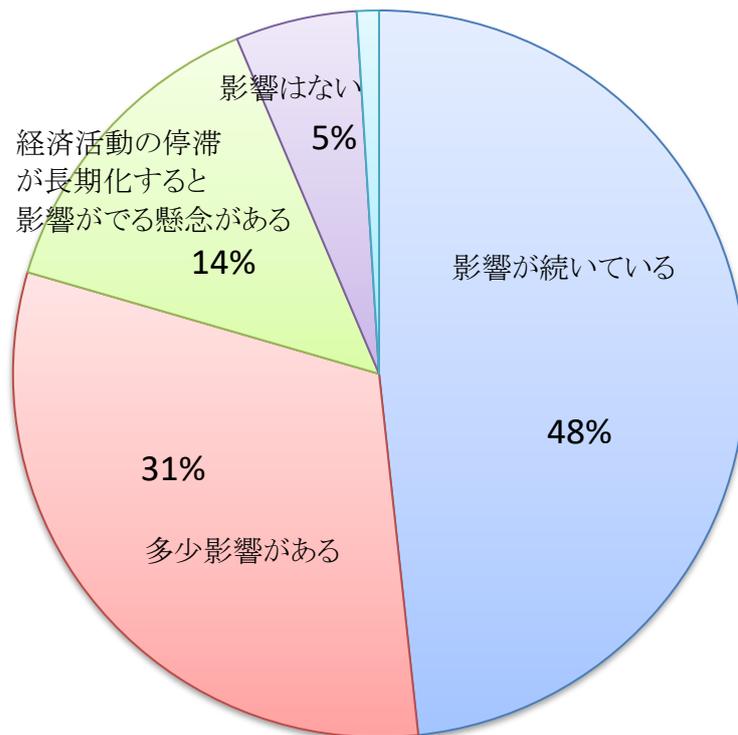
上昇
↓
下落



新型コロナウイルスの影響について



令和3年7月～9月期(参考)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・来年1月にも原材料が大幅に値上がりする事が分かっています。新たな事業開拓及び新製品の開発も考えています。
- ・ウッドショックによる影響が続いている状況で受注増加しているが、人員不足により仕事にむすびつかない状況。
- ・リフォームや新築の依頼はあるのだが材木がない。トイレや洗面化粧台も納期未定で仕事ができない。
- ・景気は悪いが体が忙しい毎日です。働き方を見直す取り組みをして行く方針です。
- ・全国の感染者数が少なくなって良かったかと思っていた所、又変異株が発生し拡大しないか心配している。今後景気回復するには一日も早く終息してもらいたいと思います。
- ・現場の数も少し増えてきており、このまま少しずつ受注が増えていってほしい。

設備工事業

- ・商品の生産が間に合わず納期未定商品が増加している。金額の大きい案件は滞っているが少額の案件は動いている。
- ・受注価格が下がっている。
- ・半導体や原材料などの供給不足による物価上昇が景気回復の足かせになっている。

繊維品製造業

- ・都市ガス価格上昇が気になります。
- ・弊社では中国で生産が多く、資材高、停電での納期の遅延、船便の遅れ、船賃の上昇、円安で原価が上昇しており、納品価格へ転嫁できないので困っております。
- ・原材料高騰がかなり厳しい状況です。
- ・コロナで死なない世の中になれば正常化できるので、オミクロン株が弱毒でありますように。
- ・2年以上続くコロナの影響が、まだまだ継続していて経営面なども、いつ上昇するか困ります。
- ・材料費の高騰がかなり痛いです。

食品製造業

- ・今後に関しては、全てコロナウイルス次第です。今年初頭のようにコロナが拡大していれば先は真っ暗ですし、落ち着いていればなんとか持ちこたえられそうです。
- ・中途採用を進めているが、求人状況の感覚がわからない。コロナで人が余っていると言われるが応募が限られている。
- ・原油高によるエネルギーコストの上昇及び弊社製品の生産に使用する小麦粉や食油、スパイスなどの輸入品の価格アップにより、損益に影響が出ています。
- ・日本はスタグフレーションになってしまうのでは？政府はケチらないでもっとお金バラまくべきだ。

機械・金属製品製造業

- ・切削工具等の市中在庫(メーカー在庫)が不足している為に手持在庫を増やさざるを得ない。業界によってバラツキが大きくなっている。
- ・材料やペンキ、諸々が高騰していて製品を作り上げるまでに赤になってしまう。
- ・建築材料がメインの当社にとって大型物件は対象外。中小物件の建設がなかなか盛り上がって来ないのが、業況悪いということにつながる。
- ・新型コロナウイルス発症から2年が過ぎようとしています。生活様式が変わり不安と先の見えない毎日を過ごしてきました。日本国内は今のところ落ち着いていますが、また

オミクロン株が人々の不安の種です。来年こそは良い年にと願うばかりです。

- ・原材料や部品など
ほぼ全てが上がっているが受注価格に反映されていない。お客様からの品質や納期が厳しくなっている。
- ・仕入価格上昇において客先に転嫁が追い付かない。軽油、ガソリン代の上昇が厳しい。
- ・仕入で一部上場が見られます。
- ・現在、自動車メーカーの生産が滞っており影響が出始めている。
- ・コロナの影響も大きいですが、台風19号の影響による顧客離れが出たと考えております。
- ・昨年の2倍、70台の生産です。内輸出は30台。

化学・プラスチック製品製造業

- ・当社レベルの中小企業まで設備投資の影響がくるまで時間差がある。来年は多少上昇すると思う。
- ・材料の納期が不安定、価格も値上げの話がきています。材料が希望通り納入されず生産計画が立てられない状況。
- ・原材料の入荷困難品が継続しており、ポリエチレン樹脂原料の価格上昇が続いている。
- ・マスク使用している間は注文は減少のままです。
- ・車関係の生産が40%ダウンしていて来年の1~2月回復予想ですが先行不明、それに付け加え樹脂材料の値上げや入荷不足も重なっている。

その他製造業

- ・外人研修生が入国出来ず困っている。円安と原油高で仕入価格が上昇して受注があっても製品に転化出来ず利益が圧縮されている。見積りも大変むずかしい。
- ・コロナ関連 算の支出等によりインフラ投資が減少しており、当業界の受注への影響が大きい。
- ・コロナの影響は未だに確かにあるのに、コロナ関係の支援金は業種で区別され何も受けられないのはやや不満、先行きは不安。
- ・燃料費高騰が業況に与える影響が大きい。

卸売業

- ・更なる景気対策などの補助が必要かと思えます。
- ・年末は材木不足、部品の不足で悪そうです。
- ・業種により回復傾向に差があるように思えます。
- ・コロナにより海外製品の入荷遅れが発生し売上げ減が懸念される。
- ・一部半導体不足のため納期遅れが出ている。
- ・オミクロン株の動向が気に掛かります。
- ・飲食業だけでなく企業の支援も考えて欲しい。
- ・ガソリン、材木、コンテナ（輸出）海上運賃の経費が値上り、先行きが不安。

小売業（飲・食料品）

- ・新 コロナ がなければいいと思えます。
- ・油需要拡大、値上り、コンテナ不足、輸送費増 穀物相場上昇→小麦、トウモロコシ→商品入仕上昇。
- ・材料の値上げ、人件費の上昇で増々苦しい状況です。
- ・夏季の状況よりは10月~12月の売上げは上昇するが、1月~3月の売上げは落ちる。材料の値上げがあったが、これから先もあると思う。商品の値上げはむずかしい。
- ・人が出歩か無い、買い控え、店を閉める人が多くて商店が廻りから消えていき何とかしなければ。
- ・観光に出かける人が増えたのか来店客が減っています。
- ・まだ景気の悪さが続いています。

その他の小売業（大型店含む）

- ・過剰在庫を整理し年末の販促につなげる。宣言解除後、平日不振日がみられる。

- ・不透明な点があり分かりにくいですが、がんばるしかないと思います。
- ・仕入価格が上がってもなかなか値上げ出来ない。電話注文は前回通りになってしまう。
- ・人通りがない。
- ・コロナウイルスの規制で来店客の減少で売上が悪い。
- ・新春の福 売り出し少数でも予約取りして(経費かける)数字をつか おく。
- ・来店買上客数は増加していますが、一昨日の水準には届いていないことが現状です。年末、年始は帰省などの人の移動にかかっていると思います。
- ・仕入価格が上昇して、他店についていけない。
- ・専門店への顧客の減少があると思います。

飲食店

- ・少しずつ人出は戻り基調と感じる。
- ・大型宴会が皆無の為売上が減少。TAKE OUT 等で努力しています。少人数のお客様は少々戻りつつあります。
- ・いつもお世話になっております。良い日もありますが、2019 年前とはほど遠いです。
- ・仕入価格の上昇が今後も続くと利益の維持が厳しくなる。
- ・コロナ禍以前のような空気感は当然ありませんが、来店者数は上向きになっており景気回復に期待します。
- ・早くコロナがなくなってほしい。
- ・不漁、コロナ、原油高が重なり仕入れるネタの欠品や価格上昇が止まらず、メニューの変更も視野に入れています。低価格と均一価格が売りなので、しばらくは利益減少が予想されます。
- ・創業以来、コロナの影響により日の目を見ることなくさらに物価は値上の一方。先が見通せません。
- ・お客様も少しずつですがお立ち寄りくださいます。元に戻るのは無理でしょう。
- ・お客持続化補助金の振込も一年かかりやっと入金されました。(一部はまた来年)協力金も遅く売上減少にもかかわらず持ち出しが多いので早めの対策を希望します。
- ・皆様のお力を頂きながら何とか持ち応えてはいるものの、いつ又新しい変異株などで状況が変わるのか不安な日々が続いています。これからもよろしくお願い致します。
- ・コロナが続く限り売上の増加は望めません。忘年会、新年会、その他大人数の宴会はありません。少ない売上げの中でも何とかやりくりして頑張っています。宜しくお願い致します。
- ・原材料の値上げが激しいが、なかなか価格に転化できない。
- ・10 月に時短営業解除になった割に状況は変わらず、11 月に入ってから少しずつ客足が戻って来た様です。12 月のクリスマスと御節の販売に期待したいと思います。
- ・国、栃木県、佐野市のコロナ「終息宣言」が肝要。
- ・コロナ次第。
- ・コロナの自粛が続いていて客数がのびない。
- ・昼は回復しつつあります。
- ・忘年会の予約がなく、少人数の来店がほとんどです。
- ・プレミアム商品券、Go to eat 食事券により少し客足が戻りつつある様ですが、コロナの影響が長期化すると、又厳しくなると思われます。
- ・ラーメン店は他の飲食店と比べ回復が早いように感じます。
- ・団体の予約が、ほぼありません。

サービス業

- ・コロナの影響が若干あるが、何とかお客様が戻りつつあります。
- ・美容室なので、なるべく重ならないお一人ずつの予約を受けている。以前は重なりながらも仕事のできたので、効率が良くない。
- ・頑張りたいのですが、自粛明け遠方に遊びにいかれサロンの経営はなかなか難しく思います。
- ・まだまだ不景気が続きそうです。
- ・結婚式場という事もあり、受注が増えても半年~1 年先の売上げになるので、引き続き

厳しい状況。

- Go To キャンペーン2月からは遅すぎるのではないかと思っていたが、新たな変異株が上陸し、むしろGo Toは早すぎたのではと考え直し始めた。
- 物流の停滞にともなう業務の手間増、顧客減少の懸念、工期の長期化。
- 自動車業界 新車が売れない(納期がかかり過ぎている)欲しくても車が間に合わない。そのため中古車の価格が上昇しすぎている。
- 8月、9月はコロナの影響を感じました。
- 不動産を営んでおりますが、住宅用の土地の販売が少し滞っているように思います。建築価格の値上りなどを受けて、土地の価格に対して予算が下がっている印象です。
- 来店回数がどの方もスパンが長くなりました。
- 新車の製造の遅れと中古車の仕入れ価格の上昇で市場が異変を起こしている。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和3年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、221社（回答率76.2%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所